

『第4次多賀町総合計画』とは

多賀町では平成11年度から、21世紀に向けての新しいまちづくりの方針を定める「第4次多賀町総合計画」の策定に取り組んできました。

「総合計画」は、21世紀初頭の多賀町の将来像をえがくとともに、それを実現するための基本的な方針と施策の大綱を定めるものです。

この計画は、住民意識調査等をもとに、各界、各層のご参画による「第4次多賀町総合計画策定委員会」において、度重なる審議の末に答申いただき、本年3月の定例議会における議決を経て策定したものです。

今後、この計画を行財政の指針として全力あげて諸施策を推進していく所存でありますので、町民の皆様はじめ関係機関の皆様のご理解と、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

さあ皆さん。心豊かに21世紀を創造しましょう。

多賀町長 夏原 寛

■計画の期間■

・平成13年度（2001年度）
～平成22年度（2010年度）

■目標人口■

・約1万人

21世紀の多賀町の将来像

■社会状況の変化■

- 高度情報化時代の到来と産業構造の変革
- 急速な少子高齢化の進展
- 自然環境の保全と資源循環型社会への転換

■多賀町の魅力■

- 大都市の近くに大自然がある
- 悠久の歴史に培われた懐深い文化がある
- 充実した知的・創造・体験資源がある

■多賀町の主要課題■

- 豊かな風土の継承
- 魅力ある職場づくり
- 定住のための基盤整備
- 町民創意のまちづくり
- 交流の拡大
- 福祉のまちづくり
- 効率的な行財政運営
- 多賀の顔づくり
- 教育環境の充実

多賀町の将来像

《基本理念》

多賀町は豊かな水・緑の恵みのもとに、古くから人々の生活が営まれ、多賀大社をはじめとする歴史・文化資源などが数多く存在するまちです。

21世紀の多賀の将来像を描くにあたっては、琵琶湖の水源地帯として、豊かな山の緑や清流の保全を第一に考え、官民一体でその継承に努めることが我々の責務であると確信します。そして自然の「うるおい」をベースに、人権を尊び、誰もが健康で安心して心豊かな生活をおくることができる「やさしさ」のあるまちづくりを心がけ、活力ある産業や人々の交流による「にぎわい」のある多賀を築いていきたいと考えます。

《多賀町の将来像》

—うるおい・やさしさ・にぎわいに満ちた多賀をめざして—

『山蒼く水清く心豊かな多賀のまち』

取り組むべき施策の基本方向

多賀町の課題を克服し将来像を実現するため、今後取り組むべき諸施策を次の3つのステージ（舞台）で捉え、相互の連携と補完関係に留意し実施していきます。

3段9層の施策大綱（施策の基本方向）

